



SPRING HILL NEWS LETTER

今日を
しっかりと
生きる



約 1200 坪の土地がネット価格 2700 円 (税・送料無料)

約 1200 坪 (約 2400 畳) という土地を、2700 円で所有することができる方法をご存知ですか。家を建て家庭菜園もできる広さです。ただ立地が問題。どこの土地かといいますと「月」。この月の販売をしているのは、アメリカ人のデニス・ホープ氏 (現アメリカルナエンバシー社 CEO)。ホープ氏は、「月は誰のものか?」という疑問を持ち、法律を調べたところ、宇宙条約というものを発見。宇宙条約では、国家が月の土地の所有は禁止されているが、個人の土地の所有については言及されていないことに着目。1980 年サンフランシスコの行政機関に所有権の申し立てし、それが正式に受理、それ以降、月の権利宣言書を作成し、国連、アメリカ政府、旧ソビエトにも提出。異議、申し立てがなかったため、「ルナ・エンバシー社 (ネバダ州)」を設立。『月の土地』を販売し、権利書を発行する「地球圏外の不動産業」を開始したそうです。しかしながら、現在でも月に住むどころか、人間を月に送ることができるロケットすら持っていないというのが実情。では、こういった方が何の目的で購入しているか。友達の誕生日や結婚、出産祝い等のプレゼント用が多いようです。「忘年会のビンゴ用」にいかかでしょうか。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

編集長「梶田」のつぶやき・・・

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

先日、葬儀会社ティアの富安社長の講演を聞く機会がありました。名古屋を代表する会社の社長さんで、めちゃくちゃパワフルだったなあと記憶しています。たくさんのお話をこの講演で学びました。いくつか例を挙げると、うーん、軽く思い起こしただけでも 3 つのテーマが思い浮かびます。すべて「精神」的な話だったのかなとも思います。まずは、葬儀だけに「死」に関してすごく持論を持ってました。

葬儀大臣！ありがとうございます！



今日と言う 1 日は 1/365 日ではなく 1/1×365 日だと。あるお客様の 19 歳の息子が、今まで何の前兆もなく、すごく健康体であったのに、いきなり翌日になったら布団で亡くなっていた・・・。たまたまその前日に「調子が悪いから今日は早めに寝るね」と。これが最後の会話で、本当にやりきれないと。普通に走行車線を走っていたら、前方からトラックが走行車線をはみ出してぶつかってきた。何で私のお父さんが、何も悪い事をしていないのに死ななければいけないの？朝の「行ってきます」が最後の会話だった・・・。富安さん曰く、当たり前ですが、人は今日死ぬとは思っていない。でも、実際には自分に瑕疵が無くても人は死んでしまう。後 0.5 秒ずれていれば回避できた事故もあるが、その瞬間に居合わせてしまっただけで人は死んでしまう。だから、私はいま生きていることに感謝して、毎日を精一杯生きるのだと・・・。うーん、悲しい話ですね・・・。他人事のように他人事ではないですね・・・。

会社理念と教育 (尽生・志事)

そんなティアの理念は「本当にありがとうと言われるサービスを提供する」との事。最近不祥事がいろいろ起こっているが、これは全て経営陣が悪いとの見解です。利益率・粗利・売上げ・・・これらを必要以上に追うために、現場がその期待に応えようと「改ざん」や「偽造」をするのだと。会社の求める所を「売上・利益」ではなく、やりがいや感謝に置き換える事が重要だと。結果、そのサービスが提供できていれば売上・利益は後からついてくる。人生は尽くして生きる事→「尽生」だ。仕事は志をもって事を成す→「志事」だ。これらを教育の核として日々社員教育をしているのだと。こんな素晴らしい考え方を持っている会社がなんと、フランチャイズを募集しているみたいです。うーん、やろうかな・・・。葬儀業界は「唯一右肩上がり」の業界で、プレーヤーは家族経営の葬儀屋が大半との事。今はイオンなど、大手の会社も参入していますが、団塊の世代とその子供の私達が亡くなるまでは大きく成長し続ける市場です。さあ皆さん、一緒に葬儀業をやきましょう！初期投資額は、調べたところ・・・うーん・・・約 2 億！！まじかつ、高いんでやっぱりやめましょう・・・。